



# この記事がすごい! 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年8月9日号

編集／毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター



## 甲子園交流試合10日に開幕!

11日(火) = 1面、スポーツ面、社会面

新型コロナウイルス感染拡大で中止になった第92回選抜高校野球大会の出場32校が集い、各1試合ずつを戦う「2020年甲子園

高校野球交流試合」が、10日から阪神甲子園球場で開幕します。大分商(大分)と花咲徳栄(埼玉)の開幕試合を皮切りに

6日間計16試合にわたる憧れの舞台での球児たちの戦い。「最後の夏」に懸ける思いをお伝えします。



### 特集ワイド

14日(金) = 夕刊特集ワイド

#### 「女の戦争」ファッションデザイナー・桂由美さん

太平洋戦争では銃後の少女たちも軍需工場で過酷な労働を強いられました。国に翻弄された少女たちは戦争をどう見つめ、敗戦の痛みをどう乗り越えたのでしょうか。ブライダルファッションデザイナーの桂由美さん=

写真=は、海軍にあこがれて神風特別攻撃隊(特攻隊)に志願したいと願った「軍国少女」だといっています。一方で10万人以上の死者を出した東京大空襲の悲惨さも体験しました。桂さんに戦争について聞きました。



「拝啓 戦争の時代から 75年後のあなたへ」

12日(水) || 1面、社会面

海外の戦地から日本へ、日本から海外の戦地へ。家族や友人に思いをつづったたくさんの中交わされています。

海外の戦地から日本へ、日本から海外の戦地へ。家族や友人に思いをつづったたくさんの中交わされています。

### 論点 コロナ禍が問う「戦後75年」

14日(金) = オピニオン面

自粛、相互監視にデマ……。新型コロナウイルスに見舞われた生活を、統制時代の戦前、そして戦時下の社会と重ねて語られることが増えてきました。時あたかも「戦後75年」という節目の夏。コロ

ナ禍の中で生きる私たちは、そんな暗黒の日々に向かっているのでしょうか。戦争を皮膚感覚で知る漫画家のちばてつやさん=写真=と、批評家の大塚英志さんがたっぷり論じます。



は、帰省の自粛、  
匹の猫と過ごす  
に、たまご立と  
過ぎた。立秋を  
日、だるやうに  
猫たちも食欲が  
て夏バテ気味で  
高2020年甲子  
いよ、吹っ飛ば  
悔しさを吐き出  
よ、ななを飛ば  
レ、ななを飛ば  
ま、ななを飛ば  
我が家のバグは  
紙面をバグらせ  
V戦でバグらせ  
の。お楽しみは  
だ。お楽しみは

